

「

BELIEVE

2014  
秋号  
VOL.50

」

特集 **MEセンターをご存じですか?**



201310205 尾柳佳枝 ・制作年/2013 ・素材/クレヨン、色鉛筆、カーボン紙、紙

シリーズ **情熱の白衣 医師の素顔⑤** 乳腺外科部長 **露木 茂**

- 食だより〈栄養成分表示の落とし穴〉／がんサポートチームからのお知らせ／お薬ミニ知識
- 親と子の防災体験セミナー「災育」を開催／患者さんからのお声

**大阪赤十字病院の理念**

わたしたちは  
人道・博愛の赤十字精神に基づき  
すべての人の尊厳をまもり  
心のかよう高度の医療をめざします

**患者さんの権利**

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



# Medical Engineering MEセンター をご存じですか?



副院長兼放射線診断科部長  
兼医療技術部長  
藤堂 義郎

「MEセンター」の『ME』とは、「Medical Engineering」の略称で、「医用工学」すなわち「医療に役立つ工学技術」を意味します。病院の中では、この医用工学を応用したさまざまな医療機器が患者さんの治療に役立てられています。それらの医療機器を常に安全に使用できるように管理している部門が「MEセンター」です。そして、MEセンターで勤務する専門の医療職を「臨床工学技士」と言います。今回は、MEセンターで行っている業務をいくつか紹介します。



1 人工心肺装置の操作



▲MEセンターには、たくさんの医療機器が並んでいます。

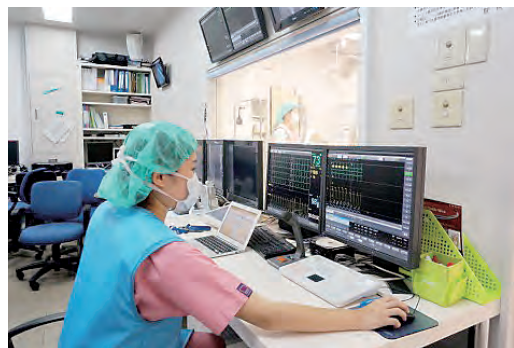
◀MEセンターのスタッフ(臨床工学技士)。



2 術中自己血回収装置の操作



3 心臓三次元画像システムの操作



4 検査データの取り込み



5 不整脈心電図の解析

## Q 「臨床工学技士」って?

**A** 近年の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化・複雑化が一層進んでいます。そのような背景のもと、医学と工学に精通した専門職が必要とされるようになり、厚生労働省認定の国家資格として、1987年に制定されたのが、臨床工学技士です。

## Q どんな仕事をしているの?

**A** 臨床工学技士は、医療機器をいつでも安心して使用できるように、保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に貢献しています。また、機器の管理だけでなく、まらず、医師や看護師、他の医療スタッフとチームを組み、生命維持管理装置の操作などを通して、患者さんの治療にも携わっています。

当院の臨床工学技士は、「医療技術部 臨床工学技術課」に所属しており、総勢18名が在籍しています。院内では幅広く「ME(エムイー)さん」の名で親しまれています。

では、ここからもう少し具体的に、当院の臨床工学技士の仕事について紹介します。

### 人工心肺業務

心臓手術では、一時的に患者さんの心臓を人為的に停止させて手術を行うことがあります。その際に、患者さんの心臓や肺の機能を代行する「人工心肺装置」を操作・管理します。また心臓手術では、たくさんの医療機器が同時に使用されるため、

それらすべての機器の操作や使用前の点検などを臨床工学技士が受け持ちます。(写真1・2)

### 心臓カテーテル業務

近年、心臓病の診断や治療に、カテーテルと呼ばれる細い管を血管に通して行う方法が発達しています。臨床工学技士は、検査・治療中のデータを取り込むために装置を操作し、心臓カテーテル治療に必要な種々の周辺機器の操作を行います。緊急時には、補助循環装置やペースメーカーなどを操作することもあります。(写真3・4)

### ペースメーカー業務

不整脈に苦しむ患者さんには、ペースメーカー、植込み型除細動器といった機器を体内に植込む手術を行います。臨床工学技士は、その植込み手術の際に、機器の操作や管理を行います。また、ペースメーカーを植込んだ患者さんが、退院後も安心して生活できるよう、ペースメーカー外来で定期的に機器のチェックを行うのも臨床工学技士の仕事です。(写真5)

### 血液浄化業務

体内にたまった老廃物などを排泄もしくは代謝する機能が働かなくなった場合などに、血液を体外に取り出して、きれいにして返す治療法を総称して、血液浄化療法と言います。腎臓の機能が働かなくなった患者さんに対して行われる、血液透析が有名です。臨床工学技士は、血液浄化装置の操作・管理はもちろんのこと、治療の際の血管への穿刺なども行います。(写真6)



### 手術室業務

手術室には、大小合わせて数多くの医療機器が存在します。手術の内容によって使用される機器は多種多様であり、手術が円滑かつ安全に行われるように、臨床工学技士は、手術室内の広範な医療機器の操作や管理を行います。(写真7、8)

### 集中治療業務

集中治療室では、心臓手術を受けた患者さんや、循環呼吸・代謝といった生命を司る機能が悪化した患者さんを収容して、集中的に治療を行います。臨床工学技士は、人工呼吸器や補助循環装置、持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置の操作や管理を行います。(写真9)

### 人工呼吸器業務

肺の機能が働かなくなり、呼吸が十分にできなくなった患者さんに対して、呼吸を代行するための人工呼吸器という生命維持管理装置が装着されます。その際、臨床工学技士は人工呼吸器が稼働している場所へ毎日訪問し、安全に装置が使用されているか、また、装置に異常がないかなどを確認します。また、人工呼吸器の使用前後の点検なども行っています。(写真10、11)



6 血液浄化装置の操作



10 人工呼吸器使用中の点検



14 医療機器講習会風景



7 麻酔器の点検



11 人工呼吸器使用後の点検



15 医療機器実習風景



8 電気メスの点検



12 医療機器の点検



9 補助循環装置の管理



13 医療機器の修理

### 院内講習会開催

院内で使用している医療機器は種類も多く、その使用方法の習得には時間と経験が必要です。医療機器を取り扱うすべての職員に、正しい知識を身に付けてもらうことも、臨床工学技士が貢献できることのひとつだと捉え、主に看護師を対象に医療機器の取り扱いに関する講習会を定期的に開催しています。医療安全課とも連携を取りながら、病院全体として安全な医療機器の取り扱いに努めています。(写真14、15)

### 医療機器管理業務

病院内のさまざまな場所で使用される医療機器を、安全に使用できるように、また、機器の性能が維持できるように保守・点検を行います。また、MEセンターで、医療機器を一括管理し、効率的で適切な運用ができるようにしています。医療機器が故障した際には、修理も行います。(写真12、13)

以上のように、臨床工学技士は、MEセンター内だけでなく、病院内のさまざまな場所で活躍しています。また、緊急で生命維持管理装置を必要とする患者さんが発生した場合や、使用中の医療機器に不具合が発生した場合でも、24時間対応できる体制を整えています。

今後も、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、医療機器を通じて、チーム医療の一員として、高度な医療技術の提供に努めていきたいと考えています。

# 露木 茂

乳腺外科部長



## SHIGERU TSUYUKI

1月13日、神奈川県生まれ。島根医科大学医学部卒業後、京都大学医学研究科消化器外科で4年間研究に従事する。平成10年京都大学医学博士取得、平成11年～13年まで米国国立衛生研究所に留学。京都大学第二外科、小倉記念病院を経て平成17年に当院に。今年4月乳腺外科部長に就任。

治るのは患者さんの力。医師は手助けをするだけ。手助けのできる医師の手を、もっと増やしていきたい。

患者の痛み、家族のつらさに少しでも寄り添えたら。

1年で1500人の手術をする、10年後には1,500人。これは当院で治療および経過観察を受ける乳がん患者数。なぜ、こんなに膨れ上がるかというと、乳がんは術後5年以降の再発の可能性がある疾患だからである。当院の乳腺外科の医師は現在3名。露木医師は、毎月10～15件の手術を行っている。「他のがんと違って、術後5年以降でも再発する可能性があり、また乳がんの場合は、他のがんと違って治療の中で手術のウェイトが大きいわけではありませんが、5～10年と長い場合が多く、治療、経過観察中には、家族のサポートが重要な疾患なんです。」

「家族のサポートが重要」と露木医師が話すのは、自身や家族の入院経験が下地にある。医師になつて3年目のときに肺の病

「困ったときはすぐに対応してくれ、分かりやすく説明してくれる。とても頼れる先生でした。」医学部に入り「自分の手術で患者さんを選んだ。今年4月から乳腺外科の部長に就任。それからは、

露木医師が医師を目指したのは、病弱だった母の主治医への憧れから。

今は仕事に追われているが、休暇がとれたらゆっくり旅行に行きたい

「入院手術を経験した。手術を受けて回復するまで、こんなに痛いものかと、入院生活の苦労を感じました。現場に復帰してしばらくすると、看護師さんから『患者さんの気持ちがよく分かり、患者さんに接する態度が変わりましたね』と言われるようになり、家族にとつては、入院するだけでも大変です。医療側が『ご家族にはこうサポートしてもらいたい』ということも、家族側にすれば、入院の手配など役割が生じてきて、サポートしたくてもその通りにはできない。そのつらさも分かるので、気づいたことがあれば、些細なことでもご家族にお話することもあります。」

「自分は手助けをするだけ。治るのは患者さんの力なんです」という露木医師。現在、後進の育成中で、乳腺外科を志望する人が増えてほしいところ。「乳腺外科では、『手技』だけが優れているだけではダメで、考え方、心の管理、すべてを大切にできる医師に育ってほしいですね」という。自分の手で治せる力を得て、経験を役立てて、多くの患者さんを助けたい。そんな頼れるチームがつくられている最中である。



時露(上)は多週家族を楽しんで、生活がリフレッシュしたそう。(右)留学(上)は多週家族を楽しんで、生活がリフレッシュしたそう。(右)アメリカの上(上)は多週家族を楽しんで、生活がリフレッシュしたそう。(右)アメリカの上(上)は多週家族を楽しんで、生活がリフレッシュしたそう。(右)

雑務が増え、休みがとれても学会の資料作成や後輩医師の論文の手直しなど、家でも仕事をしている状態が続いているそう。「平成23年からの取り組みで、当院では紹介元の地域の病院と連携し、2人の主治医で診る体制を整えています。以前は初診から治療、経過観察と、患者数は増える一方でしたが、この体制になつてからは仕事量の負担が軽減しました。経過観察などはかかりつけ医への通院ですむので、患者さん側の負担も軽くなつたと思います。休みができれば海外旅行に行きたいですね。」

## 看護師レポート◆50



看護で笑顔の輪、をつなげていきたい

### 堀 郁子

「どうしよう、自分にできるかな？」と不安でしたが、毎日園児さんたちの笑顔に元気をもらっています。困ったときには相談できる上司や同僚もいますし、とても恵まれた環境の中で働いていると実感しています。

赤十字看護師委員会の一員としては、災害教育を担当しています。毎年院内で開催する親子で体験できる防災セミナー「災害」(P6に掲載)に参加し、災害に関する応急手当体験などを行っています。「災害」で目指していることは、災害を身近なものとして捉え、訓練を体験して、自分の命を自分で守る力をつけることです。それが、もしものときの救命につながる、そんな防災教育に取り組んでいます。

仕事が休みの日は家で掃除、料理をして過ごし、気分転換をしています。街歩きや旅行に出かけたときの楽しみは、ふくろうの置物を買うこと。雑貨店などで『かわいい』と感じたふくろうに出会うと買ってしまい、家に飾っています。

看護が楽しいから、今も看護師をやっているのだと思いますが、辞めたいと思つたこともあります。ですが、患者さんからの温かい言葉や先輩や同僚の励まし、それに家族、特に両親の応援があり、今に至っています。いろんな人に支えられ、『感謝』し



石や木でつくられた、ふくろうコレクション。街歩きや旅先で出会ったお気に入りの子たち。

かありません。直接の恩返しはできないかもしれませんが、これから出会う園児さんや患者さんには看護を通して返していきたい、また、先輩たちには、「看護って楽しい」と感じてもらえるようなかわりができたらいいなと思っています。

今年4月より当院から大手前整肢学園の配属になりました。療養生活の中で、学園で過ごす園児さんへの看護を行っています。子どもへの看護経験が少なく、また福祉施設での看護経験や知識もほとんどありませんでした。「どうしよう、自分にできるかな？」と不安でしたが、毎日園児さんたちの笑顔に元気をもらっています。困ったときには相談できる上司や同僚もいますし、とても恵まれた環境の中で働いていると実感しています。

## IKUKO HORI

3月12日大阪府生まれ。大阪府医師会看護専門学校看護科、日本赤十字学園大阪看護専門学校卒業後、当院に入職。病棟勤務を経て、平成18年係長に。集中治療部看護係長、本年4月に大手前整肢学園整肢病棟看護係長に就任した。

# 食だより

## 栄養成分表示の落とし穴

栄養管理課 管理栄養士 山口 翔平

ギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウムの順番で表示する必要があり、それ以降は各食品会社が表示したい栄養成分を表示することができます。そこで気になるのが、ナトリウムです。「汗をかくとナトリウムが出ていく」「ナトリウムを摂りすぎると血圧が高くなる」など、耳にしたことはありませんか？このナトリウムは食塩のもとになるものですが、食塩と同量ではありません。ナトリウム(mg)の成分値に2.54を乗じて、1000を除くと食塩量(mg)になります。

多くの食品に、栄養成分が表示されています。健康意識の高まりから、表示を求める声が増えていることが影響していると思われるかもしれません。しかし、そこには意外と気づかない落とし穴があるので、いくつか紹介します。まず、栄養成分を表示する際には、エネルギー

$$\text{ナトリウム(mg)} \times 2.54 \div 1000 = \text{食塩(塩分)量(g)}$$

### 表示単位

食品は包装されているものもあれば、一定量が封入されているものなどさまざまです。そのため、食品の単位もそれぞれ異なり、「100g当たり」「1個当たり」と表示も変わります。例えば、あんぱん1個に入っている栄養成分の表示が、100g当たりになつていない場合、計量機がなければどれくらいの重さがあるかわからないため、実際に摂取した1個分の栄養成分が分からないということも起こります。

### 賞味期限、消費期限

「賞味期限」とは、記載されている保存方法に従えば、品質保持が十分に可能である期限のことです。比較的長く品質が保持され、劣化が遅いことから、期限を過ぎても食べられるわけではありません。

「消費期限」とは、記載されている保存方法に従えば、腐敗、変敗、その他の品質の劣化とともに、安全性を欠くおそれがない期限のことです。品質が急速に劣化しやすいもので、製造または加工日を含めて約5日以内に品質劣化する食品に記載されており、期限を過ぎると衛生上の危害が生じる可能性があります。



賞味期限と消費期限は、まったく違うものなので、しっかりと見分ける必要があります。このように、いろいろな表示があるため、まずは食品表示をしっかりと見ることから始めていきましょう。

# お薬 ミニ知識



薬剤部 薬剤師 岡田 知子

## インフルエンザの予防と治療

寒い季節になると、毎年心配なのがインフルエンザの流行ですね。今回は、インフルエンザの予防とその治療についてお話したいと思います。

### ●インフルエンザウイルスの種類

インフルエンザウイルスには「A、B、C」の3つの型があります。毎年流行を起こすのはA型とB型で、なかでも大流行を起こすのはA型です。

### ●インフルエンザワクチン

日本において、インフルエンザは例年12～3月頃に流行します。インフルエンザワクチンの接種は、流行シーズンの2週～1カ月前(10月下旬～12月中旬)に行うことが望ましいと言われています。ワクチンはそのシーズンに流行が予測されるウイルスに合わせて製造されているため、十分な免疫を保つためには毎年ワクチンの接種を受けたほうが良いと考えられます。

### ●ワクチン接種後の副反応

重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難、血管浮腫など)が表れることがあります。接種後、比較的すぐに起こることが多いことから、接種後30分間は接種した医療機関内で安静にしてください。接種から数日中に、注射した部分が赤くなる、腫れる、硬くなる、痛みなどの症状が出ることもあります。また、発熱や頭痛、関節痛、下痢、倦怠感などの全身症状がみられることもあります。通常2～3日でこれらの症状は消えますが、心配なときは医師に相談しましょう。

### ●抗インフルエンザウイルス薬

インフルエンザに対する治療薬としては、次の抗インフルエンザウイルス薬があります。オセルタミビルリン酸塩(商品名:タミフル)、ザナミビル水和物(商品名:リレンザ)、アマンタジン塩酸塩(商品名:シンメトレル等)、ペラミビル水和物(商品名:ラピアクタ)、ラニナミビルオクタン酸エステル水和物(商品名:イナビル)です。年齢や体重、発症後の時間経過、合併症があるかなど、さまざまな条件によって使える薬に制限がありますので、医師の指示に従い、用法・用量を守って正しく服用してください。

**ご注意** かつて、小児・未成年者におけるタミフル服用後の異常行動による転落死が問題となりましたが、タミフル以外の抗インフルエンザウイルス薬においても服用後の異常行動の発生が認められています。また、インフルエンザにかかったときに、医薬品を何も服用していない場合や解熱剤だけを服用した後でも、同様の異常行動が表れることが報告されています。自宅で療養を行う場合は、医薬品の服用の有無にかかわらず、少なくとも2日間は小児・未成年者がひとりにならないよう配慮してください。

がんサポートチームからのお知らせ vol.23

薬剤部 薬剤師 谷 大輔



## 病院・調剤薬局協働で患者さんをサポートします

がんサポートチームの活動のひとつとして、「院内外の医療者を対象とした研修会の開催」があります。今回はその活動について紹介します。

近年、調剤薬局でお薬をもらう機会が多くなってきており、以前にも増して病院と調剤薬局とが一緒になって、患者さんをサポートすることが重要になってきました。そのためにも病院・調剤薬局間での知識や情報の共有が欠かせません。

がんサポートチームでは調剤薬局薬剤師とともにスキルアップを図り、患者さんに安全な治療を受けていただけるよう研修会を開催しています。この会では緩和に関連する最新のお薬の勉強や、病院・調剤薬局薬剤師間での情報交換などを行っています。7月に開催した研修会では、80人以上の薬剤師が参加し、活発な意見交換を行いました。

調剤薬局では薬剤師から患者さんに、身体の状態についてお尋ねします。特に痛み止めのお薬については、どれくらいお薬が効いているかを判断するため、「最も痛みがあるときを『10』、まったく痛みがないときを『0』とした場合、現在の痛みはどれくらいの数字になりますか?」と、痛みの程度を数字で表現していただきます。また、例えば医療用麻薬で吐き気や便秘といった副作用症状が発現する場合がありますが、対処薬を使用することで、これらの症状を軽減させることができるため、吐き気や便秘などの有無をお聞きすることがあります。さらに、他のお薬と相互作用がないか(相性が悪くないか)など、薬学的観点から総合的にチェックし、必要に応じて主治医に相談しています。

有効にそして安全にお薬を使っていただくためにも、患者さんからの情報が非常に重要です。調剤薬局薬剤師から身体の状態についてお尋ねすることがあると思いますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

### がん看護相談室

当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。

TEL:06-6774-5192 FAX:06-6774-5126

syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

親と子の防災体験セミナー

「<sup>さい</sup>育<sup>いく</sup>」を開催



三角巾を使っの応急手当



消防や警察車両が正面玄関に集結 防災に関する講演の様子

8月3日(日)に親と子の防災セミナー「<sup>さい</sup>育<sup>いく</sup>」が実施されました。今年も昨年も多い、222世帯549人の小学生とその保護者にご参加いただきました。本セミナーは、「病院を含む地域の防災力の向上のためには、地域住民の皆さまのご協力が不可欠」という考えから、平成22年より開始し、今年で5年目となります。災害に関する講義や身近なものを使った応急手当、AED体験、無線体験や救護倉庫内の案内などのほか、陸上自衛隊、天王寺消防署、大阪府警察、天王寺区役所、大阪市水道局、大阪ガスなどにも出展のご協力をいただきました。参加した小学生からは「楽しかった、来年もまた来たい」「夏休みの自由研究に役立ちそう」といった話もあり、親子で楽しみながら学んでもらえたのではないかと思います。

本セミナーは来年も、8月第一日曜日に開催いたします(ホームページやチラシなどで6月頃に告知予定)。

防災の心構え ～自分の身を守るために～

普段から身の回りの避難場所を考え、家族で話し合っておきましょう。

テレビやラジオ、携帯電話などで緊急地震速報を見聞きした場合

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が、数秒から数十秒しかありません。その短い間に、身を守るための行動をとる必要があります。緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、周りの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、慌てずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



行動の具体例

周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざというときの行動を考えておきましょう。

屋内にいるとき

家庭



- ★頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
- ★慌てて外に飛び出さないでください。
- ★無理に火を消そうとしないでください。



施設

- ★施設の係員の指示に従ってください。
- ★落ち着いて行動し、慌てて出口には走り出さないでください。



屋外にいるとき

- ★街中では、ブロック塀の倒壊などに注意してください。
- ★看板や割れたガラスの落下に注意してください。
- ★丈夫なビルの中へ避難してください。

負傷者を発見したとき

災害は、いつも公共の備えを超える大きさです。負傷者について消防署に連絡できても、すぐ救助に来ることができない場合もあります。自分や家族が無事だったら、周りの人に声をかけて、負傷者に応急手当をしてください。日本赤十字社では、日常生活における事故防止、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を習得できる「赤十字救急法」の講習を行っています。詳しくは日本赤十字社大阪支部のホームページ(<http://www.osakajic.or.jp/>)をご覧ください。

乗り物に乗っているとき

自動車



- ★慌ててスピードを落とさないでください。
- ★ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促してください。
- ★急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落としてください。
- ★大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。



鉄道・バス

- ★吊り革や手すりにつかまってください。



エレベーター

- ★最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。

出典：気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)

患者さんからの  
お声



患者さんからの「ご意見」ご要望をお伺いすることを目的として、各病棟ダイルーム、外来に「ご意見箱」を設置しています。皆さまから寄せられたご意見を紹介します。

1 本館2階レストラン「ロイヤル」へのご意見

①すべてのメニューにお手拭きを付けてほしいです。直接触るサンドイッチには付いていますが、フライ物に添えてあるレモンなど、直接食品に触れてから食べる物が多くあります。

②アレルギーの表記を、もっと分かりやすくメニュー表にも表示してほしいです。



③メニュー表にアレルギー一覧表のご案内を表示しました。また、一覧表の追加もいたしました。

2 入退院時に荷物が多いため、カートなどを借りることができれば、うれしいです。

職員にお声かけいただければ、対応いたします。また、台車や車椅子の貸し出しについても行っています。

# Topics Box

トピックス & ニュース

## Event

### 「平成26年度 院友会文化祭」を開催します

当院では毎年、院内で文化祭を開催しています。文化祭では、当院職員や元職員などの作品を展示しています。また、来場者の皆さんには、気に入った作品へ投票していただいています。

本年は下記の日程で催しますので、ぜひご来場ください。

- 期間／平成26年11月18日(火)～11月21日(金)
- 会場／大阪赤十字病院 本館4階 会議室4
- 時間／午前8時30分～午後5時  
(最終日は正午まで)

## Event

### 「セプテMBERコンサート」が開催されました



9月14日(日)午後2時から2階総合ホールで、「セプテMBERコンサート」が開催されました。

第1部では、当院看護師が参加するバンド『メカGONVE』による演奏が披露され、ソチ五輪で金メダルを獲得した、フィギュアスケートの羽生結弦選手が演技中に使用した「パリの散歩道」など、6曲が演奏されました。演奏では、「ブズーキ」や「タヒチアン・ウクレレ」など多くの珍しい楽器が使われました。

第2部では、当院ボランティアが参加するグループ『グリーンズカルテット』による演奏が披露され、映画「アナと雪の女王」から「Let It Go ～ありのままで～」など、メドレーやアンコールを含めて12曲がフルートやヴァイオリンなどの四重奏で演奏されました。

この日は150人近い観客がご来場になり、「大人から子どもまで楽しめて良かった」、「珍しい楽器の演奏に感激した」などのお声をいただき、盛会のうちに終了しました。

次回は「クリスマスコンサート」として、12月中旬に開催する予定です。当院ホームページや院内ポスターなどでご案内いたしますので、どうぞご期待ください。

▶ <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>

## Seminar

### 大阪赤十字病院 「第5回 糖尿病オープン教室」を開催します

テーマ:糖尿病の治療についてもっと知ろう!

生活習慣病と言われる糖尿病は、発症予防、早期発見・治療、合併症の予防が重要です。元気な今こそ治療を始めるときです!

- 日時／平成26年11月14日(金)  
午後1時30分～午後3時30分
- 会場／大阪赤十字病院 本館1階 正面玄関ロビー
- 参加費／無料
- 申込み／不要(直接会場へお越しください。)
- 内容／
  - ・講演:①「今すぐできる運動の実際」  
稲葉一実(大阪赤十字病院 理学療法士)
  - ②「外食が害にならない食べ方」  
高嶋法子(大阪赤十字病院 管理栄養士  
日本糖尿病療養指導士)
  - ③「世界糖尿病デーに想う」  
中石滋雄(中石医院 院長)
  - ・糖尿病療養指導士による血糖測定、血圧測定など
  - ・医師、糖尿病療養指導士による健康生活相談

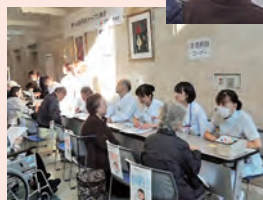
**募集!** 糖尿病に関する川柳を募集しています。  
川柳は、1階・2階・3階外来と東4階病棟に設置されている院内ボックスに投稿してください。

期間:10月2日(木)～10月31日(金)

- 問い合わせ／  
大阪赤十字病院 本館2階 ⑧番窓口  
(受付時間:平日午前8時30分～午後5時)  
担当:医療社会事業課 06-6774-5192(直通)



昨年のセミナー  
実施風景



## Event

### 「第40回 天王寺区民まつり」に参加しました

9月14日(日)、第40回天王寺区民まつりが五条公園グラウンドで開催されました。当院は「応急手当体験コーナー」としてまつりに参加し、地域の方々へ心肺蘇生とAEDの使用方を説明し、体験していただきました。

当日はたくさんのお子さんや大人の方々が体験に来られました。「AEDを学校で見たことはあるけど触ったことがない」と言う子どもたちが大半で、今回初めて触れるAEDに興味を持ち、AEDの音声ガイダンスにしっかり耳を傾けて、真剣に取り組んでいました。大人の方々からは「テレビでは見たことがあったけど、今日やってみてよく分かった。体験できて良かった」というお言葉をいただき、実際に体験することの大切さを感じていただきました。

今後もこのような地域の活動に参加し、地域に根付いた病院づくりを目指してまいります。



## ●編集後記

広報誌「びり〜ぶ」は今号でVOL.50となります。いつもお手に取っていただき、ありがとうございます。創刊号は今から12年前の平成14年の春に発行されました。それから12年間、皆さまにご覧いただいたおかげで、今号のVOL.50を迎えることができました。

「びり〜ぶ」が、当院の理念である「こころのかような高度の医療」を実現するために、患者さんと当院をつなぐ役割を果たし続けることができるよう、今後もお役に立つような情報を発信し、少しでも楽しんでいただけるような誌面を作り上げていきたいと考えています。

今後も変わらずご愛読いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



(Y.N)

# 外来診療担当表

午前診療 午後診療

平成26年10月1日現在

	月	火	水	木	金	備考
消化器内科	津村	中島潤	邊見	丹家	齋藤	すべて予約制
	松田史	遠藤	圓尾	福原	西島	
	関川	丸井	大崎往	米門	佐田	
	大原	喜多	坂本祥	木村	圓尾	
	津村	中島潤	邊見	丹家	齋藤	
	松田史	遠藤	圓尾	福原	西島	
消化器内科(肝臓外来)	喜多	大崎往	木村	那須	西川	午後は予約制
糖尿病・内分泌内科	米光	南部	松田優	武呂	米光	すべて予約制
	武呂	武呂	米光	松田優	南部	
血液内科 (移植外来)	多田	水谷	右京	金子	平田	すべて予約制
	金子	平田	畑中	水谷	畑中	
	三谷			三谷		
	多田	水谷	右京	金子	平田	
	金子	平田	畑中	西	高橋慧	
		小西義		酒巻	右京	
リウマチ・膠原病内科	片山	船越(予約)	片山(予約)	伊藤博(予約)	伊藤能(予約)	すべて予約制
	片山	船越	片山	伊藤博	担当医	
腎臓内科	菅原	杉岡	大崎啓	土井洋	越川	すべて予約制
	越川	土井洋	菅原	大崎啓	菅原	
	菅原	杉岡	大崎啓	土井洋	越川	
	越川	土井洋	菅原	大崎啓	菅原	
循環器内科	担当医	田中	伊藤晴	長央	福地	すべて予約制
	林富		稲田		田中 (第2週を除く)	
	(第1・3・5週-長央 第2・4週-福地)	伊藤晴	林富	稲田	福地 高橋由樹	
不整脈内科	佐野	牧田		牧田		すべて予約制
	(ペースメーカーICD 担当医)	牧田		佐野		
心臓血管外科		中山正(予約)	中山正(初診)		中山正(初診)	すべて予約制
		担当医	金光		吉川 (末梢血管疾患専門外来 第2週のみ) 駒井	
小児科	住本(紹介初診)	(リウマチ・アレルギー外来) 住本	葭井	(腎臓・アレルギー) 住本	(血液外来) 藤野	すべて予約制
	(アレルギー外来) 安西	竹川	(アレルギー外来) 肥田	(神経外来) 坂本晴	金岡	
	(重心・神経外来) 奥野	(内分泌・代謝外来) 野村	(アレルギー外来) 中道	(心臓外来) 杉田	新居	
小児外科	松川		松川			すべて予約制
外乳腺外科	山之口	伊藤剛	山浦	吉村文	中島研	すべて予約制
	下池	金谷	中島康	有本	岡田	
	奥村	有本	三浦	赤川	福田明	
	露木	(乳腺) 露木	(乳腺) 仙田	(乳腺新患) 露木	馬場園	
	山之口	伊藤剛	山浦	吉村文	中島研	
	下池	福田明	中島康	有本	岡田	
整形外科	渡邊	鈴木隆	坂本武	大浦	富原	専門外来は予約のみ すべて予約制
	富	別當	堤	別當	福田亜	
	(脊椎外来) 坂本武	(膝関節外来) 大浦	白	(スポーツ・肩外来) 鈴木隆	(第1・3・5週-渡邊 第2・4週-堤)	
リハビリテーション科	好井	好井	好井	好井	富原	
脳神経外科	担当医	山下	西村英	山下	金本	予約・紹介のみ
		金本		西村英	堀口	
		土井健		担当医		

	月	火	水	木	金	備考
神経内科	高橋牧	(隔週) 高橋由佳子	鈴木聡	金田	峠	すべて初診のみ
	峠	金田	篠藤	高橋牧	中村	すべて再診のみ
	中村	鈴木聡	金田	永井	鈴木聡	
呼吸器内科	(喘息・COPD 外来を兼ねる) 吉村干			西坂	(喘息・COPD 外来を兼ねる) 森田	すべて予約制 ※禁煙外来は 午後のみ
	(喘息・COPD 外来を兼ねる) 森田	池上	中川和	若山	若山 (喘息・COPD 外来を兼ねる) 吉村干	
	吉田真	多木	多木	黄	黄	
	(禁煙外来) 若山	黄	吉田真	船造	船造	
呼吸器外科	(セカンドオピニオン外来) (手術相談外来) 中出	中出	渡辺裕		川邊	午後再診のみ ※月～金曜日 助産師外来あり
		田中宏	田中宏		中出	
産婦人科	午前:川島 午後:池田	午前:芦原 午後:邸田	池田	午前:堀内 午後:高松	安堂	午後再診のみ ※月～金曜日 助産師外来あり
	安堂	午前:担当医 午後:徳重	高松	野々垣	担当医(初診)	
泌尿器科	西村-(紹介)	光森	前野	大久保	高橋毅	すべて予約制
	高橋毅	住吉	光森	前野	大久保	
	河野	西村-(紹介)	光森	住吉	河野	
	西村-	光森	前野	(前立腺外来) 大久保		
	高橋毅	住吉	光森	前野		
	河野			住吉		
眼科	午前:高山 午後:山田章	中川聡	午前:秋元 午後:川島祐	中川聡	大田	(火・木) 再診は予約のみ
	秋元	岡本洋	中川聡	岡本洋	田口	
	午前:廣井 午後:中川聡	高山(予約)	田口	廣井(予約)	高山	
	大田	廣井(予約)	廣井	山田章	午前:秋元 午後:廣井	
	川島祐		山田章	(黄斑外来2・4週) 武蔵	午前:川島祐 午後:山田章	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	森田勲	吉松	吉松		森田勲	すべて予約制
	田中徳	平塚	田中徳		平塚	
	吉田尚	吉田尚	山田		渡邊佳	
皮膚科	立花	立花	八木	立花	太田	すべて予約制
	八木	小林	小林	八木	小林	
	一ノ名	太田	中島利	一ノ名	一ノ名	
形成外科	重吉	小田	重吉	担当医	内藤	すべて予約制
精神神経科	和田	早川	大野	早川	本	すべて予約制
	横本	和田	土戸	三嶋	大野	
放射線診断科	藤堂	塩崎	前倉	梅岡	森本	診断
	前倉	(外科)	塩崎	(外科)	大嶋	検査(透視)
	森本・前倉	森本・梅岡	梅岡・森本	小嶋・塩崎	前倉・梅岡	検査(CT)
	梅岡	前倉	西尾	森本	大野	検査(MRI)
	塩崎	森本	(循環器科)	大嶋	藤堂	検査(RI)
				前倉・大野		検査(血管造影)
放射線治療科	梅岡・前倉	大野・塩崎	塩崎・前倉	森本・前倉	大嶋・塩崎	検査(CT)
	森本	梅岡	森本	塩崎	前倉	検査(MRI)
	塩崎	前倉	藤堂	梅岡	森本	検査(RI)
	石垣	遠山	担当医	遠山	石垣	
	遠山	石垣	担当医	石垣	遠山	
	遠山	石垣	担当医	石垣	遠山	
歯 口 腔 外 科	井上	杉立	本橋	担当医	担当医	すべて初診(紹介)のみ
	杉立	本橋	杉立		杉立	すべて再診(予約制)
	本橋	井上	井上		井上	

異動などにより変更になる場合があります。当院ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各料外来にお問い合わせください。

- 受付時間(月～金) 〈診療開始は午前8:45からです〉  
初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 〈病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください〉  
平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00 小児病棟(平日・休診日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

お問い合わせ/TEL:06-6774-5111(代表)  
〈大阪赤十字病院〉<http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>  
〈赤十字全般〉<http://www.jrc.or.jp/>

■平成22年12月1日より  
当院は敷地内全面禁煙です

当院は平成22年12月1日より、敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。

